



雪も寒さも楽しむ子供たち

大寒からの厳しい冷え込みが体にこたえる毎日ですが、子供たちは、太陽の暖かな日差しを求めて、休み時間には運動場に走り出し、縄跳びやドッジボールなどで楽しく遊んでいます。雪の積もった運動場は、人一倍にぎやかで、真っ白で冷たい雪の感触を全身で楽しんでいる子供たちであふれていました。

2月4日は立春です。太陽が出ている時間が長くなり春の気配を感じられるようになる頃です。外遊びが好きな子供たちは季節の変化を先取りしているかもしれません。～ 1月25日 雪遊び ～



5年生 認知症サポーター養成講座 1/17(火)

ひたちなか市「認知症サポーター養成講座」を受講しました。認知症サポーターとは、高齢者や認知症について正しく理解し、普段の生活の中で高齢者や認知症の人を見守り、支援する応援者のことです。寸劇を通して、認知症の方への接し方を学びました。2025年には、高齢者の5人に1人の割合で認知症を発症するとも言われています。超高齢化社会の今、認知症は他人事ではありません。

5年生は、「認知症の特徴が分かった」「困っている高齢者に声をかけたい」などの感想をもち、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりのために、「認知症サポーター」を増やす取り組みも欠かせないことに気づきました。



6年生 理科特別授業「ひたちなか理科クラブ」1/27(金)

3人の先生をお招きして、「電気の性質とはたらき」について、理科特別授業が行われました。太陽光、風力、火力など自然エネルギーの利用で作られる電気や電気のできる仕組みなど、手作りの教材を用いて分かりやすく教えてくださいました。3人の先生方は、NPO 法人ひたちなか理科クラブの先生で、理学博士でもあるエキスパートです。専門家からの話や教材に興味津々の様子でした。

エネルギーがどのように作られ、どのように用いられるのかを知り、限りあるエネルギーの使い方に課題意識をもつ子どもも少なくありませんでした。理科に興味をもち、未来に役立つ仕事につながる出会いとなる授業でした。



第3回学校運営協議会 2/2(木)

第3回学校運営協議会では、学校評価委員のPTA会長、PTA副会長にも参加していただき、後期学校評価アンケート結果などから今年度の学校運営目標の達成状況について協議しました。本に親しむ態度を育てるための読書活動の工夫、体づくりに効果的な運動や外遊びの継続、思いやりの心を育む体験活動や交流活動の充実など、ご助言をいただきました。また、日頃からの子供との関わりの中で、交友関係の困り事や「いじめ」を察知し、親身になって対応する温かな支援の大切さを確認しました。落ち着いて授業に臨む児童の姿から、さらなるステップアップを期待していただきました。今後も、子供たちの豊かな成長のために、学校、保護者、地域が一体となった学校運営に取り組んでまいります。



心温まる贈り物をいただきました

昇降口階段前の円形花壇の花は「花を見て嬉しい気持ちになってくれたら」とのご厚意で植えていただきました。

また、手作りのほうきをいただきました。大切にに使わせていただきます。優しさにつれて心が元気になります。

